

笠岡市 神島地区 その1

神島八十八ヶ所巡りの魅力

約30kmの巡礼コース

神島には、江戸時代に開かれた巡礼コースがあります。最大の魅力は、瀬戸内海の多島美を眺めながら歩ける贅沢さ。潮風を感じる海岸線や木漏れ日の古道は、歩くだけで心が整う「癒やしのトレッキング」に最適です。島の人々に守られた素朴なお堂を巡れば、まるで時が止まったような非日常を味わえます。



四国遍路を模したお堂が神島の至る所に点在し、今も古き良き信仰の姿を留めています

PICK UP! 02

神島は歴史が深い! ぜび足を運んで欲しい 寺社



慶長年間(1596~1615年)から、鳥居の上の部材(笠木)が片方失われ、風にふらふらと揺れながらも、100年以上のあいだ決して地に落ちなかったといわれています。

岩瀧神社

B

「ハチマキ道路」から山中へ進むと現れる岩瀧神社

名前の由来は、境内にそびえる滝のように見える巨大な白い岩です。木々に囲まれた静寂の中、鳥の声に耳を澄ませれば、自然を神として敬ってきた島の人々の息吹が感じられます。



岩瀧神社の周りの木はなぜかぐるぐるとうねっています



源吾明神

D

二十三番札所・葉王寺のすぐ隣

地元で「源五郎さま」と親しまれる源吾明神は、胸や胃の病に利益があるとされる神様です。参拝の際は、小さな弓矢を作ってお供えするのが古くからの習わし。願いが叶った暁には、年の数だけ弓矢を捧げてお礼参りをする独特の文化が今も息づいています。



神島神社は、神武天皇(神日本磐余彦命)とその妃を祀る、奈良時代創建の古社です。地元では「かつて神島と高島は地続きだったが、大津波で分かれた」という伝承や、神武天皇が滞在したのは実はこの地だったという説など、数多くの高島伝説が語り継がれています。



神島神社

E



日光寺

F



瀬戸内を一望する絶景

参道の石段を登りきって振り返ると、笠岡諸島の島々や行き交う船を眺めることができ、その眺望は島内屈指です。境内には「いぼ」に霊験があるとされるお地蔵様も祀られています。

PICK UP! 01

神島遍路 八十八ヶ所巡り ぜび足を運んで欲しい 札所



六番札所安楽寺

海沿いに静かに佇む安楽寺

かつてここには、自分に似た顔が必ず見つかると言われた「五百羅漢」が並んでいました。現在は数体を残すのみですが、穏やかな表情の羅漢像と向き合えば、時間がゆっくりと流れるような不思議な安らぎを感じられます。

十八番札所恩山寺

山の上にひっそりと佇む恩山寺

辿り着いた先には、穏やかな瀬戸内海と空がぱっと広がり、心からの深呼吸を誘います。急坂を登るのが難しい方のために「前札所」も用意されており、誰をも温かく迎え入れる優しさが漂う場所。

十二番札所焼山寺

「遍路転がし」と呼ばれる難所

一歩ずつ山道に登る道のりは険しいですが、ふと振り返れば、木々の間から穏やかな瀬戸内海が広がります。

見晴らし良いです



石見の浦
こゝは、かつて風待ちの舟が待つ自した場所だそうである

点線はお遍路道です

六番札所安楽寺

十二番札所焼山寺

十八番札所恩山寺

源吾明神

黒岩

かつては釣り人で賑わっていました

B

F

E

D

C

A

B

C

D

E

F